

ぐるっと
250キロ

両津

おいしい加茂湖産カキを召し上がれ (加茂湖カキまつり)



土手焼きコーナーには長蛇の列ができました

3月20日(日)、今年で19回目となる加茂湖カキまつりがおんどこドームにて開催されました。このまつりは加茂湖産カキの消費拡大のためのPR活動として催され、今年は島内外から約1500人が来場しました。



一生懸命殻をとります

また今回のメインイベントである、カキ飯、カキ汁、土手焼きのセットが食べられるコーナーでは長蛇の列ができ、多くの人がアツアツの冬の味覚に舌鼓を打っていました。

なお、今年は例年以上にカキの育成が良く身も大きいこともあり、このイベントで消費されたカキの量は、殻つきが12,000個、むき身が300キロにもなり、まつりは大盛況のうちに幕を閉じました。

ぐるっと
250キロ

新穂

春を告げる鬼太鼓

4月半ばに行われる集落の祭に向けて、鬼太鼓の練習が早いところでは2月末から始まりました。新穂地区には11組もの鬼太鼓組があり、まだ肌寒い風に乗った太鼓の音を耳にすることで春の訪れを実感することができます。

4月は役(鬼・獅子)の異動が行われることもあり、厄払いをして、家内安全・五穀豊穡を祈願するという大命を授かった今年の新役から抱負を語ってもらいました。



大野(獅子)池野修一さん
一生懸命練習し立派な獅子を披露したい



正明寺(黒鬼)本間薫さん
鬼太鼓を通じて地域の方と交流を深めたい



長畝(黒鬼)渡邊友裕さん
精一杯がんばりたい



瓜生屋(獅子)石山道博さん
祭を楽しみたい



瓜生屋(黒鬼)古藤隆一さん
古い伝統を守り一軒一軒大事に舞いたい

ぐるっと
250キロ

相川

佐渡國 相川ひなまつり —黄金の郷 さがしに行こう 桃の花—

江戸時代に金山で栄え、奉行所が置かれた相川には、伝統があり絵になるひな人形が数多く残っています。初めて開催されたこのひなまつり、桃の節句にあわせて20か所の民家・商店・ホテルなどで、ひな人形が飾り付けられました。

江戸時代から伝わるものや、久しぶりに日の光にあたるひな人形など色とりどり。2月26日から3月13日まで開催されましたが、訪れた人たちは「ひなまつりマップ」を手に、まだ春浅い相川の街を散策していました。



ぐるっと
250キロ

佐和田

越の松原再生プロジェクト

ぐるっと
250キロ

3月27日(日)、佐渡花の島プロジェクト*さわたにより「越の松原再生プロジェクト」が開催されました。

越の松原再生プロジェクトは、かつての松原の復元を目指して防風林内の間伐予定の黒松を窪田キャンプ場に移植するもので、花の島プロジェクト会員を含め150人のボランティアの方々



が参加しました。植樹した松には植樹した人の名札が飾られ、特に家族連れの参加者に喜ばれていました。

植栽の後は、豚汁とおにぎりがふるまわれ、参加者は見違えるようになったキャンプ場を眺めながら疲れをいやしていました。

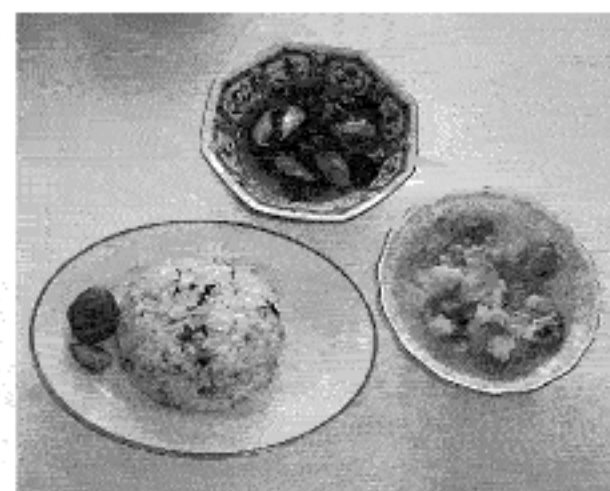


ぐるっと
250キロ

畑野

男の料理教室開催!!

3月24日(木)、畑野母子健康センターにおいて「男の料理教室」が開催されました。この教室は、「男子厨房に入るべからず」という言葉が死語になりつつある中、男性の方にも栄養や食事についての関心を持ってもらおうと、2月から4回にわたり開かれてきたものです。



最終日となったこの日は、生活習慣病予防についての話しがあり、その後みんなでワカメチャーハン、八宝菜、ポトフにチャレンジしました。初めは「料理なんてしたことない」と言っていた人も、4回目の教室ともなると手際よく作業を進め次々と料理を完成させていきます。今年度初めて開催された教室でしたが、自分で作って食べることの楽しさや、



食生活が健康に深く関わってくることを学べたと、参加者からは大好評でした。

ぐるっと
250キロ

真野

ヒラメまつり

3月13日(日)、真野活性化センターいぶき21を会場に「ヒラメまつり」が行われました。

会場では、「佐渡の日」にちなんでヒラメ井やヒラメ寿司が310円で販売され、訪れた人たちは真野特産のヒラメに舌鼓を打っていました。

当日使用されたヒラメは豊田の栽培漁業センターで養殖されたもので、約150匹のヒラメがペロリと平らげられました。また、海鮮焼きやそば等も販売され、まつりは大勢の家族連れでにぎわいました。

